



令和7年度 山梨県立富士河口湖高等学校
学校運営協議会設置通知書交付式・学校運営協議会委員委嘱状交付式
及び第1回学校運営協議会

日 時：令和7年6月6日（金） 16:00～17:00
場 所：山梨県立富士河口湖高等学校 小会議室

(1) 学校運営協議会設置通知書交付式・学校運営協議会委員委嘱状交付式

(司会 指導主事)

- ① 開式の言葉（司会）
- ② 県教育委員会あいさつ
- ③ 県教育委員会職員紹介
- ④ 学校運営協議会設置通知書交付
- ⑤ 学校運営協議会委員委嘱状交付
- ⑥ 閉式の言葉（司会）

(2) 第1回学校運営協議会

(司会 教頭)

- ① 開会の言葉（司会）
- ② 校長あいさつ
- ③ 学校運営協議会委員紹介
- ④ 学校運営協議会の運営等に関する要綱について（教頭）
- ⑤ 学校運営協議会会長及び副会長選出
会長・副会長あいさつ
- ⑥ 議事（議長 会長）
 1. 令和7年度学校運営基本方針について（校長）
 2. 令和7年度学校評価について（教頭）
 3. その他
- ⑦ 報告事項
 1. 各分掌から
 - (ア) 教務係
 - (イ) 生徒指導係
 - (ウ) 進路指導係
 - (エ) 生徒会指導係
 - (オ) 研究係
 2. 令和7年度年間行事予定について
- ⑧ 学校運営協議会委員より
- ⑨ 閉会の言葉（司会）

※今後の予定

- | | | | | |
|-----|------|--------|-----|-----------------------|
| 第2回 | 令和7年 | 9月30日 | (火) | 学校評価中間報告 教育課程について |
| 第3回 | 令和7年 | 12月12日 | (金) | 授業参観 教育課程・次年度基本方針について |
| 第4回 | 令和8年 | 2月12日 | (木) | 学校評価・次年度基本方針について |

令和7年度第1回学校運営協議会会議録

令和7年6月6日(金)16:00～

於：小会議室

(1) 委嘱状交付式 次第のとおり交付式が行われた。

(2) 第1回学校運営協議会（16：08～）

①開会の言葉（教頭）

②校長あいさつ

- ・ 教員の働き方改革に伴う負担軽減
- ・ 学校の魅力化、新しい取り組み
- ・ 施設の老朽化等の対応、教職員の定数減

という課題にどう向き合うか。富士北麓地域としてどうしていくか。

教員の独りよがりになっていないかという不安。運営協議会委員の皆様の意見を参考にしていきたい。率直な意見を伺いたい。

③学校運営協議会委員紹介

- ・ 委員による自己紹介

④学校運営協議会の運営等に関する要綱について（教頭）

- ・ 要綱の説明。

⑤学校運営協議会会長及び副会長選出

会長に小石川正文氏、副会長に瀧口綾氏が選出された。

⑥議事（議長小石川会長）

1. 令和7年度学校運営基本方針について

- ・ スクールミッション・スクールポリシーについて、わかりやすい表現に変更した。今までの取り組みを継続している。探究活動について地域の魅力や課題について。
- ・ 今年度の重点目標についての説明。人口減少社会に生きていく生徒に何を学んでほしいか。社会に目を向けさせたい。校長訓話では社会で起こったことを話している。
- ・ 前期募集の募集率を20%→30%へ変更した。生徒会活動や部活動を継続したい生徒に来てほしい。指導体制が整っている部のみ明示している。

（委員A）募集率は学校で決められるのか？

（校長）そうです。上限は40%。

（委員B）町役場を活用してほしい。介護、福祉分野、お金の分野、などがあります。人材育成に活用できます。

（委員C）スクールミッションは学校が作ったのか？

（校長）県教委が作成。

（委員C）いい文章だが、地域だけでなく国内外で活躍していく人材の育成を盛り込んでほしい。

（委員A）重点目標について、進学校を目指すのか。就職に対応できるか。

（校長）9割以上の生徒が進学を希望している。

（委員A）大学だけでなく専門学校も対応していくのか。

（校長）対応します。

（委員D）山梨県教育振興基本計画、学びの主体は子ども。学びに目を向けさせたい。今年度の重点目標は、掛け算の視点でみているいい目標であると感じる。

→承認

2. 令和7年度学校評価について

- ・ 本年度の重点目標を生徒、教員で自己評価して、運営協議会委員に学校関係者評価をしていただくという方法をとっていきたい。

→承認

3. その他

→なし

⑦報告事項

1. 各分掌から

資料にて報告。校長から補足説明あり。

- ・ 教諭は30名。加配4名。初任者加配1名であるので実質29名。
R6まで3学年とも週31時間。標準は週30時間。見直しが必要であった。R7は3年のみ30時間とした。3年金曜6校時は「河高タイム」という自学自習の時間を設けた。進路探究などに充てている。
- ・ 心配事が少ない学校である。あえて挙げるならば交通事故が心配である。特に自転車。
- ・ 進路について、どの受験スタイルの生徒も満遍なくいる。どう対応していくか進路主任と対応している。
- ・ 部活動の選択と集中。R8陸上部の募集停止。生徒、PTAにも報告済み。残った部を強化する。開設部以外の活動は認めない。吹奏楽部も金賞を得ている。代表までもう少しのところまで来ている。漕艇部、カヌー部は毎年全国大会に出場しているが、大会出場に伴う費用の財源確保が難しくなりつつある。若い指導者の育成が必要。部員数の確保のために全国募集も考えなくてはならない。その場合の課題は宿舎である。
- ・ KIPは1クラス2名配置で対応している。
- ・ 保健環境について、自分の気持ちをうまく伝えられず学校を休む生徒が一定数いる。相談員やSCのおかげで抑えられている。
- ・ 総務について、会誌が表彰を受けている。PTAが協力的である。

2. 令和7年度年間行事予定について

- ・ 何かあればまたご意見をいただきたい。学園祭はステラシアター。一般公開はしていないが、委員の皆様にはご来場いただき、生徒の活動を見てもらいたい。

⑧学校運営協議会委員より

(委員E) 地域の声を次回以降伝えたい。

(委員F) 職場に河高出身が多い。

(委員G) 生徒の現状などが知れた。

(委員H) 役立つ提言できればと思っている。

(委員I) 今後も勉強していきたい。

(委員J) らしき、人間力が大切。7/5の15:00に同窓会があるのでお願いします。

(委員K) 活発な意見があって有意義だった。

(委員L) 進路ガイドの中に教え子がいて感無量。それぞれのステージで適切な教育が大切。

(委員M) 地域人材の育成は中学でも大切。河高と連携したい。小中も人材不足。人材育成が必要。

(委員N) 来年が50期生。節目である。活躍している卒業生がたくさんいる。協力していきたい。

⑨閉会の言葉

(17:30終了)